

8月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和6年8月末現在〕

令和6年9月13日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」は前年同月比では悪化したが、前月比では改善した。「売上高」「収益状況」は前年同月比、前月比ともに悪化した。

業種別でみると、「景況」は製造業、非製造業ともに前年同月比では悪化したが、前月比では製造業は改善、非製造業は変化なしであった。「売上高」は、製造業では前年同月比、前月比ともに悪化し、非製造業では、前年同月比は改善したが、前月比は悪化した。「収益状況」は、製造業、非製造業ともに前年同月比及び前月比で悪化した。

お盆の長期休暇で稼働日数が減少したことから売上高や収益状況が悪化したという報告があった。また、最低賃金の上昇を懸念する報告があった。

景況DI

製造業は、前月比6.8ポイント改善の▲29.2ポイント、非製造業は、前月比増減なしの▲28.0ポイント、全体では、前月比3.4ポイント改善の▲28.6ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比13.5ポイント悪化の▲37.5ポイント、非製造業は、前月比8.0ポイント悪化の12.0ポイント、全体では、前月比10.2ポイント悪化の▲12.2ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比5.7ポイント悪化の▲41.7ポイント、非製造業は、前月比16.0ポイント悪化の▲36.0ポイント、全体では、前月比10.8ポイント悪化の▲38.8ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製 造 業	学校給食パン	今年度の最低賃金が、10月から1,005円になることが決定した。賃金上昇に対し、価格転嫁が追いついていない。中小零細企業にとって賃上げは負担となり、事業の継続に影響を与えかねない。
	清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 当県7月の清酒課税移出数量は、前年同月比100.4%であった。本格焼酎については、同88.8%であった。 日本酒の課税移出数量は値段の高い特定名称酒の比率が60%となり、今後もその比率は高まっていくと思われる。要因の一つに日本酒の愛好家が普通酒よりも高級酒を好む傾向にシフトしてきていることが考えられる。 ○県内当業界について 早い蔵元では8月末頃から令和6年度の酒造りが始まっている。今年も高温障害による原料米の品質低下が懸念されるほか、米の品薄により価格が高騰し、原料米の価格が昨年対比約35%アップしていることが大きな問題となっている。これだけのコストアップを酒の売値に転嫁することは難しい。日本酒はアルコール全体での競合もあり、他のアルコールと比べ飛びぬけて割高になれば売上に影響してくる。反面、値上げしない場合は収益悪化につながる。このままだと経営の根幹の問題となってくるため、米の価格が低下することを期待している。
	納豆	大手メーカーの値上げ発表を受け、組合員においても包材及び人件費の上昇分を価格転嫁しやすい環境になったかと思われる。 人手不足の状況が続いている。
	菓子	原材料費など諸経費が10%以上値上げとなっていることから、昨年より販売価格を10%程度値上げしたが、価格転嫁が十分でなく、収益状況は悪化している。 販売数量は昨年より10%減少している。
	漬物	猛暑、台風、大雨等の災害級の天候の影響で、今後、原料となる野菜の調達に支障をきたすことが懸念される。
繊維工業	県北地区外衣シャツ	従業員の確保に苦慮している。 最低賃金の上昇等に対応するため請負金額の価格交渉を行っているが、値上げ出来ていない。
木材・木材製品	製材	国産材製品は荷動きが低調で推移。製品価格は横ばいで推移した。 外材も荷動きは低調で推移。価格は横ばいから若干の上昇傾向で推移した。 原木は荷動きが好調で推移。価格は杉は下降傾向、桧は横ばいで推移した。
	県北地区プレカット	月間加工坪数は目標の60%。 9月の加工予定は第2、第4週目に集中し合計23棟ほどを予定。 木材価格は変動せず横ばいで推移している。
紙・紙加工品	段ボール	大手も含め全体で昨年より5%から15%ほど生産数量が減少している。 資材の高騰分を価格転嫁していく必要がある。
印刷	総合印刷	前年同月と比べ業況に変化なく、固定客からの定例的な受注で作業現場を稼働させているのが現況である。 また、仕入資材用紙価格の値上げ要請が続いており、各社、価格転嫁や取引適正化に向けて取組みを進めている。
窯業・土石製品	陶磁器	今年の夏は猛暑の影響で例年より販売店の来客数が少なかった。 秋の行楽シーズンに向けて、販売店や秋のイベントの来客数を増加させるための取組みをしていきたい。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等 (景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	鉄鋼・金属	鉄鋼 8月の売上高は前年比1~1.5割程度減少した。お盆で9日間休業した取引先が多かったことから設備操業度が低下した。 金属材料及び薬品関連は高値で推移している。燃料及び石油製品は若干値下がりしているが、まだ高値の状況である。
	一般機器	生産用機械 7組合員の売上高の状況は、前年同月比で1社増加、6社減少の全体増減率73%であった。 団地全体の売上高は、主要取引先からの受注の減少が続いていることが主要因となっており、6ヶ月連続、前年同月比で減少となっている。また、派遣社員数は前年同月比で大幅に減少している。
卸売業	生鮮魚介	ほぼ全ての商品単価が上がっていることと、お盆休み前の荷動きが昨年を上回ったことから精算所取扱高は前年同月比111.63%となった。 今後も秋刀魚・秋鮭等の入荷に期待している。 9月26日(金)に水戸市場内水産卸業者による、年末商品展示会を予定。
	米麦	令和6年産米の収穫が例年より早くスタートしたが、米不足はまだまだ解消されていない。 農家からの仕入価格も前年と比べて4割程高く設定され、組合を介さない仕入価格はそれ以上に高値が続いていることから、卸売業者への販売価格も上昇しており、集荷業者全体の売上高が上昇している。
	袋セメント	袋セメントの8月度出荷数量は20千袋、前年同月比62.8%の実績となった。 建設工事の工期延長による工事の減少や、天候不順による工事稼働日数が少なかったこと等が要因と思われる。
非製造業	県北地区共同店舗	店舗全体の売上高は前年同月比122.40%、客数は同128.76%、前年同月の売上高を確保できた店舗は、全体の3分の2であった。 お盆は平日であったが、例年より来客数が多く売上高の増加に繋がった。
	鹿行地区共同店舗	台風により臨時休業や閉店時間を早めた店舗があったが、組合全体の売上高は前年同月比114.68%、来店客数は同114.70%となった。売上高が増加した店舗は全体の60%であった。イベント等及びお盆期間の来客数が多かったことが要因と思われる。
	家電	全体の売上高は前年同月比96%。冷蔵庫や洗濯機が苦戦した一方でエアコン、住設関連は好調で特にエコキュートは前年同月比140%となった。 残暑が厳しいことからエアコンの売上はまだ伸びるかと思われる。 9月からの秋商戦に向け住設、防災、防犯家電を主軸に販促活動を進めていく予定である。
	燃料	国の燃料油価格激変緩和策により、県内のレギュラーガソリン平均価格は前年同月末に比べ11.7円/ℓ安くなっているとはいえ、170円を超えている。 人手不足、後継者問題、設備の老朽化等のさまざまな問題がある中で、組合員SSは、県外大手企業SSとの価格競争等により厳しい経営状況が続いており、廃業等を検討する経営者も出てきている。
	二輪自動車	以前は夏がバイクの販売増加を見込める季節であったが、猛暑の影響でバイクに乗りたいたいと思う人が減少し、車両の販売台数が伸び悩んでいる。
	スポーツ用品	日立市では人口減少が進行していることに伴って、小中高校の生徒数も減少しており、売上高が伸び悩んでいる。さらに、令和7年度より市内中学校の統合も始まり、運動部の数も減少することから業況は悪化していくことが予想される。
	中古自動車	販売価格は前年同月比103.6%と上昇したが、販売台数は同70.4%と大幅に減少したため、売上高は同72.9%と3割近く前年を下回った。 中古車業界は、流通車不足による仕入価格の高騰で小売価格が上昇傾向にあるため、小売市場は客足が鈍く収益は悪化している。ただし8月単月の落ち込みは大型連休による稼働日数の減少も要因に考えられ、9月の動向に注視する必要がある。
野菜・果実	8月は野菜果物合計で前年対比111.9%の取扱高となった。 8月上旬は7月から引き続き単価安で推移したが、お盆以降は高温や降雨不足の影響から野菜果物共に単価高となった。	

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
商店街	ひたちなか	飲食店では21時以降の来客数が少なく、閉店時間を早める飲食店がみられる。
	水戸	人手不足が続いている。また、原材料費の高騰などの影響から業況は悪化している。
	筑西	米の仕入価格が高騰している。
サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の前年同月比は、普通車（92.7%）・軽自動車（95.6%）と減少した。
	旅館、ホテル	夏休み期間はファミリー層が好む地域や各種スポーツ大会の開催地域では予約が堅調であったが、そうでない地域との間に格差が生じている。 集客地域については、県内ほか関東の地域が多く、インバウンドについては、台湾や東南アジアからが多いものの、なかなか需要が増えない状況である。 また、売上高や販売価格が増加するも諸物価及び人件費の高騰などの固定費が嵩み収益や資金繰りが好転しない旅館・ホテルがあるほか、南海トラフ地震臨時情報の発表や台風の影響によりキャンセルが発生したことから、今後の自然災害の影響等を懸念している。
建設業	鹿行地区建設	本年4月から時間外労働の上限規制が適用され、時間外労働の削減に取り組む必要があり、週休2日制工事の推進やデジタル化を活用した効率化が求められている。
	県北地区管工事	金属部材（銅製品）の値上げを実施した。
運輸業	軽貨物自動車	令和6年8月度の組合員数は99名、車輛台数は129台である。 また、運送売上高については前年同月比96.1%であった。
	一般貨物自動車	夏季休暇により主要顧客の発送物量が減少し、トラックの稼働や売上高も減少した。 運賃は値上げされたが、車両の維持経費は嵩み、燃料価格も高値で推移しているため、収益は改善していない。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	学校給食におけるパン給食の回数増 最低賃金の上昇分に対する支援策を望む。
	燃料	・揮発油に課税している二重課税の廃止 ・燃料油価格激変緩和策の継続と出口戦略の明確化 ・物価上昇、円高への対策
小売業	スポーツ用品	人口増加のための取り組みをお願いしたい。
商店街	ひたちなか	店舗スペースの貸し出しにあたって、雨漏りが障害となって貸し出せないケースが頻出している。 雨漏り対策のための補助金等があれば利用したい。
サービス業	旅館、ホテル	県西地域でのイベントやスポーツ大会等を増やし、県外からの宿泊需要を増やしてほしい。
建設業	鹿行地区建設	公共工事の発注件数の増加

月次景況調査 8月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	8月	7月	前月比	8月	7月	前月比	8月	7月	前月比
景 況	▲ 28.6	▲ 32.0	3.4	▲ 29.2	▲ 36.0	6.8	▲ 28.0	▲ 28.0	0.0
売 上 高	▲ 12.2	▲ 2.0	▲ 10.2	▲ 37.5	▲ 24.0	▲ 13.5	12.0	20.0	▲ 8.0
収 益 状 況	▲ 38.8	▲ 28.0	▲ 10.8	▲ 41.7	▲ 36.0	▲ 5.7	▲ 36.0	▲ 20.0	▲ 16.0
販 売 価 格	26.5	34.0	▲ 7.5	8.3	16.0	▲ 7.7	44.0	52.0	▲ 8.0
取 引 条 件	▲ 12.2	▲ 14.0	1.8	▲ 8.3	▲ 16.0	7.7	▲ 16.0	▲ 12.0	▲ 4.0

中小企業月次景況調査(令和6年8月)DI値(前年同月比)

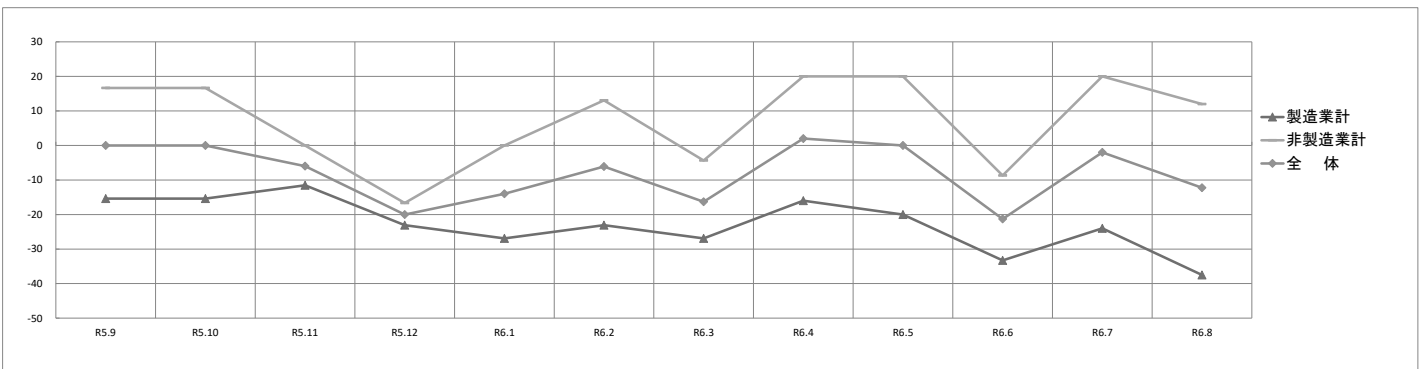
	売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況													
	DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)			DI	(内訳)																
		増加	不変	減少		業界数	増加	不変		減少	業界数	上昇		不変	悪化	業界数		好転	不変	悪化		業界数	好転	不変		悪化	業界数	上昇		不変	悪化	業界数	増加	不変	減少	業界数										
製造業	食料品	△ 28.6	0	5	2	7	0.0	0	7	0	7	42.9	3	4	0	7	0.0	0	7	0	7	△ 42.9	0	4	3	7	△ 57.1	0	3	4	7	△ 42.9	0	4	3	7	△ 14.3	0	6	1	7	△ 28.6	0	5	2	7
	繊維工業	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	木材・木製品	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	紙・紙加工品	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5	20.0	1	4	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0	0	5	0	5	△ 40.0	0	3	2	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5
	鉄鋼・金属	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	電気機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	輸送機器	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3
製造業計	△ 37.5	0	15	9	24	△ 16.7	0	20	4	24	8.3	4	18	2	24	△ 8.3	0	22	2	24	△ 41.7	0	14	10	24	△ 25.0	0	18	6	24	△ 33.3	0	16	8	24	△ 20.8	0	19	5	24	△ 29.2	0	17	7	24	
非製造業	卸売業	33.3	2	0	1	3	0.0	1	1	1	3	100.0	3	0	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3		0.0	0	3	0	3	△ 33.3	0	2	1	3				
	小売業 (商店街含む)	7.7	4	6	3	13	△ 7.7	2	8	3	13	30.8	6	5	2	13	△ 30.8	0	9	4	13	△ 46.2	0	7	6	13	△ 23.1	0	10	3	13		△ 7.7	1	10	2	13	△ 30.8	1	7	5	13				
	サービス業	50.0	1	1	0	2						50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2		△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2				
	建設業	0.0	1	3	1	5						40.0	2	3	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5		0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5				
	運輸業	0.0	0	2	0	2						50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2		△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2				
	非製造業計	12.0	8	12	5	25	△ 6.3	3	9	4	16	44.0	13	10	2	25	△ 16.0	0	21	4	25	△ 36.0	0	16	9	25	△ 20.0	0	20	5	25		△ 16.0	1	19	5	25	△ 28.0	1	16	8	25				
全体	△ 12.2	8	27	14	49	△ 12.5	3	29	8	40	26.5	17	28	4	49	△ 12.2	0	43	6	49	△ 38.8	0	30	19	49	△ 22.4	0	38	11	49	△ 33.3	0	16	8	24	△ 18.4	1	38	10	49	△ 28.6	1	33	15	49	

D I 値推移表 (R5. 9月 ~ R6. 8月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3	R6. 4	R6. 5	R6. 6	R6. 7	R6. 8
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	33.3	16.7	▲ 16.7	▲ 33.3	16.7	▲ 42.9	▲ 14.3	▲ 42.9	▲ 57.1	▲ 28.6
製造業(食料品製造業以外)	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 5.6	▲ 22.2	▲ 71.4	▲ 11.1	▲ 41.2
製造業計	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 11.5	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 23.1	▲ 26.9	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 24.0	▲ 37.5
卸売業	0.0	33.3	33.3	▲ 66.7	33.3	100.0	66.7	100.0	0.0	▲ 66.7	0.0	33.3
小売業(商店街含む)	33.3	0.0	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	15.4	46.2	18.2	30.8	7.7
サービス業	▲ 50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	50.0	50.0
建設業	40.0	40.0	▲ 20.0	0.0	40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	100.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0
非製造業計	16.7	16.7	0.0	▲ 16.7	0.0	13.0	▲ 4.3	20.0	20.0	▲ 8.7	20.0	12.0
全体	0.0	0.0	▲ 6.0	▲ 20.0	▲ 14.0	▲ 6.1	▲ 16.3	2.0	0.0	▲ 21.3	▲ 2.0	▲ 12.2

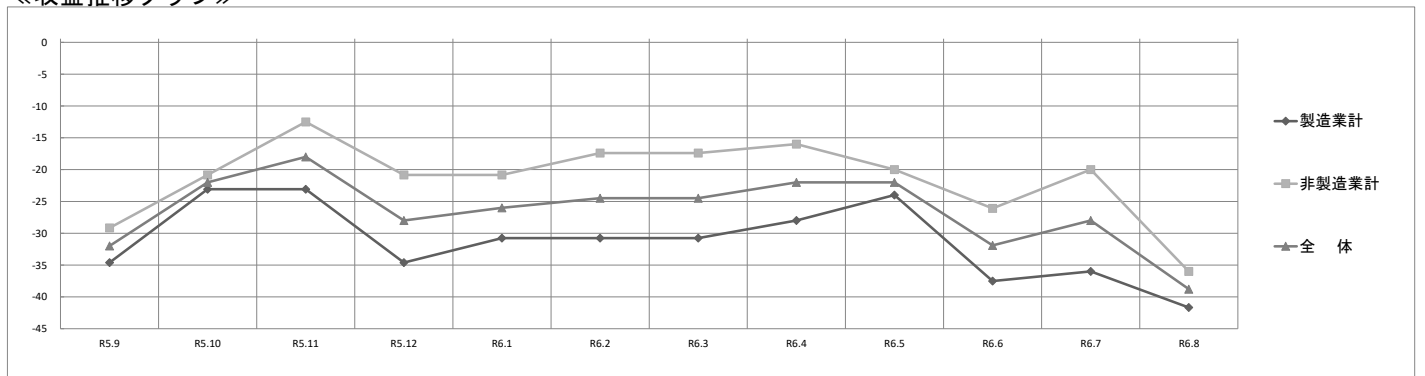
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3	R6. 4	R6. 5	R6. 6	R6. 7	R6. 8
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 16.7	16.7	33.3	0.0	0.0	16.7	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 42.9
製造業(食料品製造業以外)	▲ 40.0	▲ 25.0	▲ 35.0	▲ 55.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 45.0	▲ 27.8	▲ 22.2	▲ 35.2	▲ 33.3	▲ 41.2
製造業計	▲ 34.6	▲ 23.1	▲ 23.1	▲ 34.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 28.0	▲ 24.0	▲ 37.5	▲ 36.0	▲ 41.7
卸売業	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	▲ 66.7	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 18.2	▲ 23.1	▲ 46.2
サービス業	▲ 100.0	▲ 100.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0
建設業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 12.5	▲ 20.8	▲ 20.8	▲ 17.4	▲ 17.4	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 26.1	▲ 20.0	▲ 36.0
全体	▲ 32.0	▲ 22.0	▲ 18.0	▲ 28.0	▲ 26.0	▲ 24.5	▲ 24.5	▲ 22.0	▲ 22.0	▲ 31.9	▲ 28.0	▲ 38.8

《収益推移グラフ》

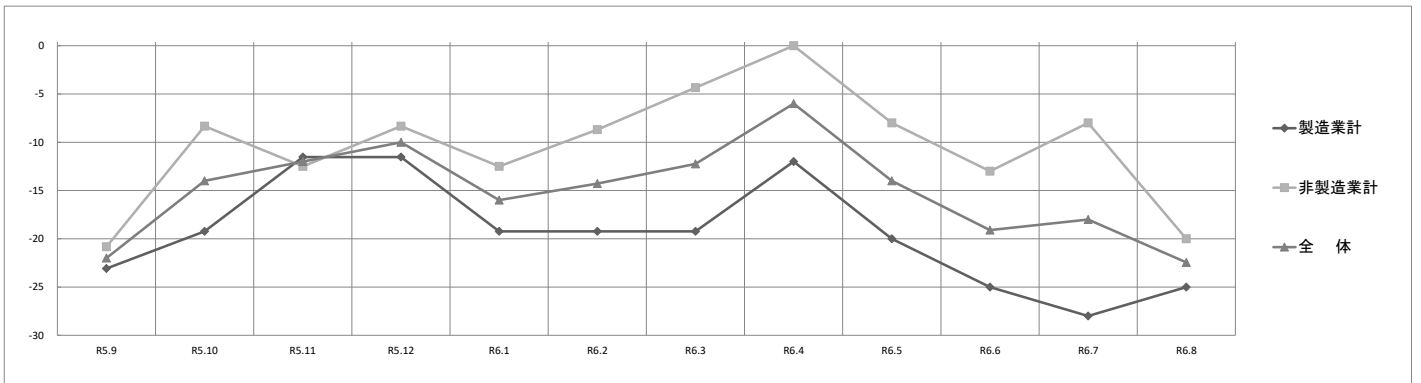


D I 値推移表 (R5. 9月 ~ R6. 8月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3	R6. 4	R6. 5	R6. 6	R6. 7	R6. 8
食料品製造業	▲ 50.0	0.0	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 16.7	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 57.1	▲ 57.1
製造業(食料品製造業以外)	▲ 15.0	▲ 25.0	▲ 5.0	▲ 10.0	▲ 15.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 17.6	▲ 16.7	▲ 11.8
製造業計	▲ 23.1	▲ 19.2	▲ 11.5	▲ 11.5	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 19.2	▲ 12.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 28.0	▲ 25.0
卸売業	▲ 33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 33.3	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 9.1	▲ 7.7	▲ 23.1
サービス業	0.0	▲ 100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0
建設業	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 8.3	▲ 12.5	▲ 8.7	▲ 4.3	0.0	▲ 8.0	▲ 13.0	▲ 8.0	▲ 20.0
全体	▲ 22.0	▲ 14.0	▲ 12.0	▲ 10.0	▲ 16.0	▲ 14.3	▲ 12.2	▲ 6.0	▲ 14.0	▲ 19.1	▲ 18.0	▲ 22.4

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R5. 9	R5. 10	R5. 11	R5. 12	R6. 1	R6. 2	R6. 3	R6. 4	R6. 5	R6. 6	R6. 7	R6. 8
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 66.7	0.0	16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 28.6
製造業(食料品製造業以外)	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 35.0	▲ 15.0	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 22.2	▲ 27.8	▲ 47.0	▲ 33.3	▲ 29.4
製造業計	▲ 30.8	▲ 26.9	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 20.0	▲ 28.0	▲ 45.8	▲ 36.0	▲ 29.2
卸売業	▲ 66.7	0.0	0.0	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 36.4	▲ 23.1	▲ 30.8
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0
建設業	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 12.5	▲ 12.5	▲ 4.2	▲ 20.8	▲ 8.3	▲ 21.7	▲ 34.8	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 30.4	▲ 28.0	▲ 28.0
全体	▲ 22.0	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 22.0	▲ 12.0	▲ 26.5	▲ 32.7	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 38.3	▲ 32.0	▲ 28.6

《景況推移グラフ》

